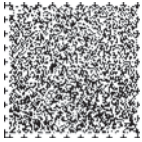


## 障害者とともに歩んで40年 「しょうぶ学園」に社会貢献者表彰

平成25年11月25日、鹿児島市吉野町の障害者支援施設「しょうぶ学園」が、2013年度の社会貢献者表彰を受けました。社会貢献支援財団が主催し、人や社会のために尽くした個人や団体を表彰するもので、2013年度の鹿児島県内の表彰は同園のみ。障害を持つ利用者の個性や可能性を広げる自由なものづくりの支援をはじめ、パン屋やカフェなど就労とコミュニケーションの場を設けて、地域に開かれた施設づくりに取り組んできたことなどが評価されました。

「しょうぶ学園」の開設は1973年。福祉施設として場や環境を「与える側」から、利用者と一緒に「創り出す側」になることを目標に、木工、陶芸、手芸などのクラフト工芸活動や音楽、芸術活動に取り組み、障害を持つ方々の才能の素晴らしさを伝えてき



## 社会福祉法人 太陽会 しょうぶ学園



桜並木の向こうに、町並みのように店舗や施設が点在するキャンパス



作品発表と交流の場として利用されるギャラリー



陶芸、音楽、木工、染織など個性と感性と自主性に合わせて創作にはげむ



ました。

2006年には「衣食住＋コミュニケーション」をテーマに掲げ、パン工房やカフェ、ギャラリー、地域交流スペースなどを活用しながら、人や町に広く開かれた新しい福祉施設として毎日多くの方が園を訪れ、交流しています。

### 「ささえあう、つくりだす、つながりあう」 創造する福祉事業を目指して

桜並木の先に広がるキャンパス。ひときわ大きな枝葉をひろげるのは樹齢250年のタブノキ。風や水や光が園内を巡り、自然環境に溶け込むように店舗や施設が建ち並ぶ様子は、まるでひとつの町並みのよう。

「しょうぶ学園」が提案するのは、「ささえあう」づくり、つくりだす、つながらあうづくりの創造。自立支援、文化創造、地域交流の3つの事業が互いに影響し、関わりながら、社会とよりよくコミットしていく新しい福祉の在り方です。そのスタイルは「しょうぶ学園の新しい福祉デザイン」(SHOBU STYLE)として2013年度グッドデザイン賞を受賞しました。独自の専門性とマネージメント技術を生かしながら、利用者が持つ創造的能力を引き出し、同時に利用者自らも「つくり手」となって園を運営していく新しい福祉デザインが、今、世界に注目されています。

社会福祉法人 太陽会 しょうぶ学園  
鹿児島市吉野町5066  
TEL 099-243-6639  
FAX 099-243-7415

